

ホームID	ホーム名		法人名		評価日			
2847	エスペランサ相模原		株式会社 フィルケア		H29.2.6			
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク				H29.2.18			
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	C	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	C	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	B	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	B	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	B	A	6.3.1	B	B
1.4.1	C	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	B	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	C
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	A	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	C	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	B	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	C	4.1.2	B	B	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	B
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	C
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	B	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	B	5.1.1	C	C	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	B	7.5.5	B	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	C
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	C	7.6.2	A	A
2.2.11	B	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	B	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-4-3	入居者の安全を確保するための体制が整備され、事故対策委員会で毎月、ヒヤリハット・事故の集計・分析を行い対策を検討している。また、事故の未然防止のための情報としてヒヤリハット報告を促しており、職員が気づいたときに記録しやすいように簡易版のヒヤリハット報告の書式を作成するなど、提出しやすい工夫がなされている。職員のリスクに対する気づきを促すことで事故防止への意識を醸成している。
2-4-4	「感染症及び食中毒対応マニュアル」「感染症蔓延防止マニュアル」を策定し、感染症予防に努めている。また、感染症予防対策委員会を設置し、ホーム内で予防を呼びかけている。さらに、外部からの感染症のまん延を防止するため、来訪者には、体調不良の際は、遠慮することを伝えとともに、手洗い・うがい・マスクの着用をするよう文書を掲示し、感染症予防について周知を図っている。
4-2-2	レクリエーションは、毎日行うゲームや音楽療法等の趣向を凝らした日替わりレクのほか、月ごとに行う行事等で毎日の生活に潤いや楽しさを提供している。また、外出レクでは紅葉狩り等は数日間の予定を組み、多くの入居者の外出を目指している。今年度から入居者個々人の希望を聞いて外出企画に取り入れており、個別でお墓参り等にも行っている。実施に際しては、担当職員が企画・反省を行い、次回に反映できるよう取り組んでいる。
6-2-8	家族等に対しては、毎月、献立表に加えレクリエーションの情報や行事予定表とともに、居室担当職員が入居者の日々のちょっとした様子などを自筆で記載した手紙を添えて送付している。また、納涼祭には家族等に来訪してもらうためのお知らせで出欠を確認するなどし、多数の参加を得ている。外出レクや誕生会などにも家族等の参加を呼びかけており、直接電話をすることで入居者と家族等の交流の機会を促進している。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-1-2	ホームの年間活動目標やサービス向上の取り組み等を明示した事業計画については、確認できていない。入居者の意向や前年度の総括結果にもとづくホームとしての課題やサービス向上に関する年度目標を定めるとともに、その具体的な取り組み計画を各部門ごとに策定することが望まれる。さらに、月次若しくは中間で進捗確認を行い、着実に実行するためのしよみの整備を検討されたい。
2-2-4	入居募集に係る文書である入居契約書、重要事項説明書及びパンフレットの記載事項のうち、短期解約特例内容、前払金の償還、償却期間等、利用料金、入居契約書の各条文については、かい離がみられなかった。しかし、介護サービス費用の自己負担額については異なった表示となっている。再度、他の記載内容についても全面的に見直し、それぞれが整合しているか検証することが求められる。
5-1-1	入居者の食事は委託業者によって作られており、施設長をはじめ看護師や介護主任、業者のエリアマネージャー、管理者等による食事会議を開催して、食事に関する検討を行っている。季節や行事ごとの特別な食事に加え、毎月提供される郷土料理や変わりメニューなどで変化ある食事の提供に努めているが、選択食は行っていない。入居者の最大の楽しみでもある食事に対して、さらなる工夫によりバラエティに富んだ食事の提供に期待したい。
7-5-6	廊下には入居者の往来に危険がないよう椅子やテーブルなど何も置かないよう心掛けるほか、居室内は担当職員や家族がその人の状態に応じた飾りや家具の配置に努めている。しかしながら、共有トイレや介護コーナー、脱衣室や浴室前の廊下、食堂の奥などには物が乱雑に置かれている。認知症症状の入居者が心穏やかに生活するために、安全で安心な居心地よい環境整備に取り組むことが望まれる。